

令和2年度 東エリア連絡会活動状況

【東エリア全体会】

第1回

令和2年7月15日(水) 13:30～ エリアの活動について各種承認をいただき、構成員の方が感じる地域課題についてグループワークを実施しました。

《出された課題や意見》

児童関係

- ・誰も関わっていない児童や支援者との関係構築が困難な家庭は、ライフステージ移行の際に連携が難しいことがある。
- ・療育の必要な児童がどれくらい市全体や東区の中にいるのか？
- ・関わりが途切れてしまう際、どこにバトンタッチをすればいいのか、わからないときがある。
- ・たんぽぽ広場がコロナ禍で開催できなくなったため、十分な養育を受けられず発達障がいのような状態を示している子が直接児童発達支援につながるが増えている。本来、支援が必要な児童が使えない状況になりつつある。
- ・1.6歳児健診で、事後フォローが必要になった児童が、どのくらい支援に繋がって、支援に繋がらなかった人たちはどうしているのか知りたい。
- ・障がいのある児童で、親が普通級に行かせたいというケースが多く、聴覚障がいの児童が普通級での学習に困難を感じている。
- ・かけはしシート等、連携できる資源はあるが十分に活かされていない。

成人関係

- ・8050問題のように、障がいのある子どもと高齢者が同居する世帯に問題を抱えていることが多い。
- ・ひきこもる中高年が増えている印象。
- ・親の入所に伴い、キーパーソンが障がいのある子となった場合、対応に困ることがある。
- ・病識がなく、医療に繋げようとしても繋がらないケースが増えている。
- ・障がい福祉の理解が深まっていない印象。地区社協活動も高齢者や児童に焦点があたっている。
- ・若年性認知症の方への関わりが難しい。
- ・一旦は支援に繋がるが途中でドロップアウトしてしまった方や関われなくなってしまった方が、問題が大きくなるまでそのままになってしまうことがあった。どう繋げればよかったのか。
- ・大人になって大きな問題が出たり、発達障がいの特徴が顕著に出る方の対応の難しさを感じる。
- ・コロナ・風水害・地震の災害時などにどこを頼ればいいのか。災害時こそ連携が必要。
- ・ハイリスク妊娠が多くなっている。
- ・災害等で公共交通機関が使えなくなった際の対応はどうしたらいいのか。安否確認を含めた対応が必要ではないか。
- ・グレーゾーン(未受診・未診断の方)の繋ぎ先がない。

第2回

令和2年11月4日(水) 13:30～ 各部会等の活動を報告し、東エリアでの地域診断を今後行うための意見交換を実施しました。

《出された課題や意見》

- ・インフォーマルな社会資源の活用が出来ていないため、ライフステージ別にどのようなものがあるか知りたい。
- ・構成員の活動を知る機会があるといい。

- ・制度や組織について、知りたい人へ情報が伝わっていない。その人たちにどう伝えていくのか。
- ・ケアマネジャーと障がい分野の老障連携がもっと進むと良い。
- ・コロナ禍における地域のソーシャルワークの取組が知りたい。特に福祉施設側での課題があれば知りたい。

短期型課題検討部会の検討テーマについて

- ・障がい分野のヘルパー不足について
- ・養育能力の低い家庭に対する支援について
- ・幼稚園等への巡回訪問について
- ・外国籍の方（ブラジル人）の成年後見人申し立て困難について
- ・8050家庭への支援困難について
- ・精神疾患の方の歯科通院困難について
- ・高齢障がい者の居場所について

⇒構成員から「介護保険が優先される第2号被保険者の活動場所や生活の場所について」「若年性認知症のつなぎ先や対応について」という課題も出ており、今回の短期型課題検討部会については、「共生型について」というテーマで取り扱うことになりました。

コアメンバーについては、エリア全体会の構成員から推薦していただいた方や、エリア全体会の構成員からも積極的に参加をしていただけることになりました。

※その他の部会検討テーマについては、現在部会取組の準備中で整い次第、部会テーマへの取扱いを検討していく予定です。

【短期型課題検討部会】

テーマ「共生型について」（介護と障がいの共生）※第2回エリア連絡会で、活動について承認を得ました。

第1回 令和2年12月25日（金）AM

コアメンバー：地域包括支援センターさぎの宮、特別養護老人ホームさぎの宮寮、在宅複合型施設長上苑、相談支援事業所ひがし、浜松医科大学医学部附属病院、社会福祉協議会、知的障がい者相談員、アマリス（福祉サービス事業所）

内容：高齢障がい者や、若年性認知症患者等の支援の中で困ったことなどを各支援機関から意見交換をしていただきました。

《意見交換内容》

若年性認知症

- ・介護保険適応ではあるが、日中活動の場所としてデイサービスは高齢者が行く所のイメージが強く、繋ぐことに困難さを感じた。
- ・障がい福祉サービスでも受け入れができる事業所が少なく、困ったことがあった。
- ・東区には、活動する場所が少なく、限られてしまう。

高齢障がい者

- ・東区全体に障がい者入所施設等が少なく、それに伴い東区内に短期入所を利用できる施設が少ない、東区以外の他区に頼らざるを得ない現状がある。
- ・介護保険では送迎加算があり、サービスがつくが、障がい福祉サービスでは送迎がない事業所が多いので利用するための移動手段がない。
- ・介護保険へ移行するのに利用者負担（1割）が必要となり、障がい福祉サービスに比べると負担が増えるケースがある。
- ・虐待疑いのあるケースで、ケア会議等を開催するにあたり障がいの方にも声をかけていいか迷うときもある。

第2号被保険者の居場所等について

・介護保険が優先されるため、高齢者施設に脳血管疾患の中高年の身体障害の方が入所しており、生活場所としては、障がい者施設のほうがいいのではないかとというケースがある。

・働ける力はあるが、移動方法の問題もあり障がい福祉サービスに繋げることが難しいことがある。

○共通課題

・実際の地域の利用ニーズとしてどの程度あるのか。

・ニーズがあった場合、利用できる場所があるのか。

・利用できる場所が増えても、当事者がそこに行く方法があるのか。

部会方向性

・ターゲットとして、まずは介護保険第2号被保険者（特定疾患 患者 40～64 歳）の現状やニーズ、社会資源等について、令和3年3月全体会で報告できるよう調査を行い、次年度に調査結果を元にした取組を、期間を設定して実施していく予定を立てていきます。

部会開催：第1回 令和2年12月25日 第2回 令和3年 1月26日

調査内容：第2号被保険者の支援についてアンケート（3/31 締め切りで現在調査中）

対象：東区に事業所がある、計画相談・居宅介護支援事業所・地域包括支援センター・介護保険施設・医療機関

【当事者意見交換会】

令和2年10月28日（水）13:30～ 東区担当の障がい者相談員と意見交換会を開催しました。

（内容）各障がい者相談員が所属する、当事者団体での活動内容の報告をしていただき、各団体で課題と感じていることについて意見交換やグループワークをしていただきました。

（意見）各団体の周知・啓発活動が出来ていないこともあり、各団体の会員数が減っている。3障がいを合同で意見交換を開催する場合には、配慮や困りごとが異なるため開催は難しいのではないかと。

令和3年1月～各障害者相談員に種別ごとに分かれてお集まりいただき、意見交換を行いました。（別紙参照）

【ネットワーク会議】

浜松市自立支援協議会東エリア連絡会についての Youtube 製作をしました。

行政からの承認を得た後、浜松市広聴広報課の Youtube アカウントにて配信を実施。（3/15 時点 145 回視聴）

【エリア研修会】

聖隷クリストファー大学社会福祉学部 佐藤順子先生による講演を令和3年3月2日に実施。

テーマ「皆が住みよい東区へ ～令和に求められる地域力～」

現地参加者 22 名、オンライン参加 22 名、事務局員他 7 名。計 55 名の参加をいただきました。

現地参加で多かったのが、民生児童委員様や地区社協の方の多くに参加していただきました。

アンケートについては、別紙参照下さい。

次年度の内容については、今年度の内容とアンケートをふまえ、検討していきます。

【事例検討会】

東センターの機能の一貫として、福祉サービス事業所への全事業所訪問があり、今年度は放課後等デイサービス事業所へ事業所訪問を行いました。その中で、事業所側が学校や計画相談との連携について課題と感じていたため、事例検討会を企画しました。令和3年3月12日に予定しておりましたが、コロナの関係で延期となりました。次年度に開催を予定していきます。

各障害者相談員との意見交換会 議事録

■知的障害相談員

日時：令和3年1月8日（金）10:00～11:00

場所：東区役所 33会議室

参加者：高林氏・鈴木氏（育成会）東センター：三嶋・玉木

（1） 今回の意見交換会の趣旨説明

（2） 意見交換

内容：

【育成会の活動等】

特別支援学校（浜松・浜名・浜北）で地区会があるが、活動については地区だけでイベント開催をしていくことは難しく、合同で行うことが多い。今までにはバスツアーを企画したりしたこともある。座談会を開催したところ、育成会会員も参加しているが、非会員の参加者も多く見られた。座談会は年2回開催している。

会員数が減少している理由として、ネットでの情報検索が簡単にできることや、育成会の活動について面倒くさいと思われている方がいるためではないかと感じている。鈴木氏の体験談としては、先輩お母さんに話を聞くことが出来たことで、役に立つことが多かった。今育成会の活動に参加しているメリットの1つと思っている。知的発達障害が増えている現状もあり、アクティブさんに参加されている方もいるのではないかと。

【今後の意見交換や相談員が抱える課題等】

・ライフステージ毎に興味関心がある事柄に違いがあるので、それに合わせた勉強会や研修会などどうか。ある程度、長期でのテーマを決めて、年間計画で実施できるといいのではないかと。それぞれのライフステージで感じることはあるので、先に、役に立つ話を聞いていただく時間を持ち、その後意見交換を行うやり方であれば、参加者が集まるのではないかと。

・就労については、ルールに乗れる方は色々繋がり支援を受けられたりするが、ルールに乗れない方が困るケースもある。障害者就業・生活支援センターやふらっとを大切に思っている。

・情報の発信方法について、個人情報も絡む情報のやり取りについて育成会単独では限りがあるので他機関（行政等）を巻き込んでの方法を検討してはどうか。

■精神障害相談員

日時：令和3年1月15日（金） 10:00～11:00

場所：東区役所 31会議室

参加者：一ノ瀬氏（明生会）中村氏（断酒会）東センター玉木・大軒

（1） 今回の意見交換会の趣旨説明

- ・ヘルパーの同行援護では1人で複数名の支援ができない現状。
- ・くるるがなくなってしまうことによる不便さ。
- ・協議会の啓発活動について今までのポスター・チラシの作成では効果がない。
- ・日常生活上の困り感は一それぞれで、汲み取りの仕方や方法について課題がある。

令和3年度 障がい者自立支援協議会 年間予定表【案】

浜松市協議会目標

「支え合いによって、住み慣れた地域で希望を持って安心して暮らすことができるまち」

協議会	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市全体会				◎							◎	
企画会議		◎		◎		◎		◎		◎		◎
事務局会議	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

東エリア連絡会 テーマ 「～向こう三軒両隣 つながり広がる東区に～」

エリア連絡会	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エリア全体会		◎										◎
事務局会議	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
短期型課題解決部会	「第2号被保険者の居場所」現在進行中											
	課題解決型：随時開催											
研修開催	年1回以上											
ネットワーク会議	年1回以上											
当事者意見交換会	年2回程度											

東エリア自立支援連絡会 第1回 全体会 (仮) 5/19 13:30～ 東区役所

東エリア自立支援連絡会 第2回 全体会 2月又は3月に開催予定